

清水町 に住もう で営もう



～住みやすく、
移住創業支援が充実の町～

私は自宅も会社も清水町です。下記にもある通り住みやすく、子育てもしやすい町だと思います。移住・創業支援も充実しておりますので「清水町に住む」「清水町で営む」をご検討してみたいかがでしょうか。その際はぜひ当社にお手伝いをさせていただけたら幸いです。

株式会社 万福不動産部 について

●清水町をオススメしたい理由

以下清水町ホームページより引用

清水町は、静岡県東部の沼津と三島の間に位置する、緑豊かで自然が美しい町です。町の中央を流れ、富士山の湧水が湧き出す柿田川は、豊かな自然環境を提供してくれるとともに、生活用水等として東部地域の人々の生活を支えています。清水町北部には国道1号が東西に通過し、沿道には近隣市町の方々も訪れる大型商業施設が立地しています。東名・新東名高速道路や東海道新幹線三島駅にも近く、首都圏への通勤・通学も可能です。“誰もがやすらぎと生きがいを感じる「笑街健幸」のまちへ”と題し、医療・福祉・教育面でのきめ細やかなサポートにも力を入れています。清水町には、大型商業施設のほか、柿田川公園や丸池など、お子様連れで楽しめるスポットが多くあります。

充実した子育て支援やくらしやすさが評価され、実は県内からの若い世代(特に、20～39歳)の転入が多いエリアでもあります。転入人口のうち、県内他市町からの転入は県内で最も多くなっています(令和2年国勢調査)。

さらに、大東建託株式会社が実施した「いい部屋ネット 住み続けたい街ランキング2021<静岡県版>」では、本町が県内1位にも選ばれています。実際に、令和3年度の住民アンケートでは、8割以上の方から住みやすいとの声をいただいています。

コンパクトな町の中に、魅力がぎゅっと詰まったこの街をぜひ一度訪れてみてください。生涯にわたって住みやすいだけでなく、伊豆・箱根など、海も山も温泉もすぐ近く。贅沢な休日な過ごし方の選択肢が一挙に増えること間違いなしです。

●不動産と物流とドローンの融合

2002年に創業したアイズ物流は今年で21年、ドローン事業は2022年に、そして今年、2023年に不動産部を創業する運びとなりました。もうお気づきかもしれませんが世界を一変させた新型コロナウイルスにより当社は多大な影響を受けました。その時運営していた飲食店は閉店を余儀なくされ、アフターコロナを見据え様々な事を考え、行動し、一つ一つカタチになろうとしております。

ですが一概に不動産業を始めたと言っても実務経験は無く、老舗店や大手企業、長きに渡り不動産業界に居られる方々に知識量、情報量、営業力など、どこを取っても到底太刀打ち出来るはずもありません。ですので21年携わってきた「物流」や昨年より始めた「ドローン」と融合させる事により他店との差別化、個性、新しい風を吹かせる事が出来るのではないかと考えました。特に物流では引越しのノウハウや手配は得意分野ですし、物流業界の2024問題に向けた物流拠点の用地、倉庫、駐車場、社員ドライバー等の住まい探しも益々ヒートアップすると予測しております。それに伴い、既存の取引先である物流企業様へは様々な情報提供をしたいと考えております。またドローン事業に於いては、日頃見れない視点からの物件、立地状況などをドローン映像を用いて皆様にご提供出来ればと思っております。

●代表が52歳で宅建士を取得した理由

上記の内容の続きのような話になってしまいましたが、現在53歳の私が2年前のコロナ禍に不動産業界への進出を決意し、やるならば自分で宅建士になろう!と昨年7月から必死に勉強をし、なんとか合格する事が出来ました。

そんな私は高校卒業と同時に18歳で自立し、1DKの賃貸アパート～4LDKの貸家、賃貸マンション、マンション購入とその時の環境に対応。それは1人暮らし～同棲等を経て結婚、子供誕生と状況が変わり、今では夫婦子供5人と母そして大型犬で暮らす一戸建てを購入という経験までする事が出来ました。また住居は元より事務所や店舗の賃貸経験も多く、それに伴う引越しや入居、退去も幾度と無く経験して来ました。この経験値をこれから転居や引越し等をお考えの方々に包み隠さずアドバイスが出来る事、物件を違った視点から見れる事、見落としがちな点をお伝え出来る事で活かせると思っております。

特に「住む側、借りる側」の目線に於いては誰よりも詳しいと自負しております。このような事を自ら行いたいと思い宅地建物取引士の資格を取得しました。

■ 事業内容 : 不動産の売買・仲介・賃貸・管理

■ サービス内容 : 不動産×引越しSET

■ 宅地建物取引業免許: 静岡県知事(1)第14715号

■ 所属団体: (公社)全日本不動産協会会員 (公社)不動産保証協会会員

